

夏休みラジオ体操と 6 年生子どもリーダー



今年も「夏休みラジオ体操会」がはじまりました。今年は 7 月 19 日 (火) の美浜打瀬小校庭を皮切りに、前半の 8 月 1 日 (月) までを美浜打瀬小、打瀬小の 2 校で 1 週間ずつ行い、後半の 8 月 23 日 (火) から 8 月 29 日 (月) の 1 週間を海浜打瀬小で行います。

ベイタウンのラジオ体操では 6 年生の「ラジオ体操子どもリーダー」が運営に積極的に参加します。3 つの小学校から手を挙げて集まった 6 年生たち約 20 人がラジオ体操の模範演技を毎朝朝礼台で交代で行い、更に体操開始前のラジオの準備や終わった後下級生たちのカードにスタンプを押すなどの運営の作業も行っています。

今年このリーダーに立候補したのは 22 人の 6 年生たち。3 つの小学校から女子 18 人、男子 3 人の精鋭です。彼らの一番大きな役割はラジオ体操の正しく美しい動作を会場に集まった下級生や地域の人達に毎朝朝礼台に上って模範を見せること。この練習のために全員が夏休みのラジオ体操が始まるよりも 1 ヶ月前から毎週土曜日の早朝、海浜打瀬小のピロティで練習を重ねてきました。

ここ数年のリーダーは、幼稚園や低学年の小さい頃からラジオ体操に参加していた子が多く、基本の動作が身体に身についています。中には上のお兄さんやお姉さんが 6 年生でリーダーになったので、それを見ていて自分もリーダーにあこがれてという子もいます。これは長くつづいてきたベイタウンのラジオ体操ならではのことでしょう。

それでも最初に海浜打瀬小のピロティに集まって、ラジオに合わせて体操をしたときはとても壇上で模範演技などできるもの

ではありません。まず左右逆の動きに慣れることから始め、気をつけの姿勢の足の開く角度、左右に腕を伸ばしたときのバランス (たいていの子はどちらかの腕が水平でなく、これは鏡を見ないと直せません)、さらに跳躍運動のときにラジオの音楽のリズムに合わせて着地できるように跳ぶなどをラジオ体操主催者の鎌田さんから徹底的に教えられます。

そして、これなら壇上に立って模範演技ができるとお墨付きをもらったリーダーから順に朝礼台に交代で上がることができま

す。これがリーダーたちの競争心に火をつけます。また自分だけ取り残されて、いつまでも朝礼台に上がれないで終わるのではという不安もあり、体操期間中もつづく練習にも熱が入ります。

そんなリーダーたちが最後に目指すのはラジオ体操最終 2 日間に朝礼台に上がる 4 人のトップリーダーに選ばれること。毎年最後の 2 日間の第 1 第 2 体操をそれぞれ一人ずつで受け持ち模範演技をします。

このリーダーには単に体操が美しくできるだけでなく、ここ数年自分の個性を表現した子が登場しています。

女子で身体の柔らかい子が、流れるようなレガートな動きで、美しさを極限まで追求したような体操をしたかと思えば、中には身体が硬くて最初はとても壇上に上がらなかった男子が、夏休み中欠かさず練習して、最後は男の子らしく勢いのあるキビキビとした動作で身体の硬さを逆手に取ったような動きで周囲を驚かせたりします。

こんな子どもたちの姿が見えるのも夏休みラジオ体操の楽しみです。



OB リーダーの活躍

早朝のラジオ体操会場には自転車置き場の整理誘導係が現れます。始めたのは現在高 3 生の A 君。A 君も 7 年前にはラジオ体操子どもリーダーのひとりでした。中学生・高校生になっても毎年のラジオ体操に欠かさず参加し、後輩達の面倒を見ていましたが、遠くから集まる自転車の安全な通行と整理が気になっていました。3 つの小学校をまわる朝のラジオ体操会にはベイタウン中からたくさん子どもたちが自転車で参加します。自転車で来る子どもたちが安全に駐輪して校庭に出入りできるようにと、A 君は一昨年あたりからひとりで自転車の誘導整理を始めました。毎朝自転車が安全に整列して置かれるようにコーンを立て、遅刻しそうになって慌てて走ってくる子どもたちにはバス通りで交通整理をして安全確保をします。

これを見ていて自分もと思ったのが同じラジオ体操リーダーを 4 年前に経験した I 君です。彼も卒業後毎年ラジオ体操

会に参加し、後輩達の世話係を買っていましたが、黙々と自転車の誘導整理をする先輩の姿に感じるものがあつたのでしょうか。一緒にコーンや用具の運搬を手伝い、2 人で子どもたちがラジオ体操をしている時間中も道路に立って誘導をするようになりました。

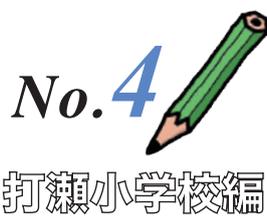
そして今年は更に昨年と一昨年に小学校を卒業した中学生たちがそれを手伝うようになりました。今では毎朝来年のリーダー候補の小学校 5 年生も巻き込んでラジオ体操自転車置き場が整然と運営されています。こんな輪が続いていくといいですね。



よりよい学校生活にするために

今僕の学校では…

打瀬小学校 計画委員会



打瀬小学校では全校のみんながよりよい学校生活を送るためには、どんな活動をしたらよいか、計画委員会を中心に考え、取り組んでいます。今回は前期に取り組んだ3つの活動をご紹介します。【打瀬小学校 計画委員会】

【あいさつ運動】6年4組 柳瀬 花梨

5月18日の水曜日から6月3日の金曜日まで、あいさつ運動を行いました。あいさつをしてくれる人の人数を調べて発表するとよいと考えたので、みんなで調査しました。あいさつ運動の初日は「あいさつができる人はやっぱり少ないかな。」と思っていましたが、自分が担当する5・6年生の下た箱に行くと、初日は64人の人があいさつしてくれました。思っていたよりたくさんの方が自分からあいさつをしてくれて、とてもうれしかったです。他にも3年生の2組と3組の下た箱でも行っていましたが、こちらもたくさんの方があいさつしてくれました。あいさつ運動が終わり、次の活動が始まって、自分からあいさつをしてくれる人がいて、とてもうれしかったです。

【緑の羽根募金】6年3組 近藤 扶

打瀬小での緑の羽根募金は、各学年の昇

降口に立ち、計画委員が「緑の羽根募金、ご協力お願いします。」と言って、取り組みました。緑の羽根募金は、地球の緑化のために使われます。(赤い羽根募金とは違います。)今回の緑の羽根募金の合計額はなんと、12,988円でした。12,988円ということは602人いる打瀬小で一人あたり21円の募金をしたということです。全国の学校で緑の羽根募金を行えば、世界に緑がどんどん広がって行くと思います。募金をしてくれた人には計画委員がその場で緑の羽根を渡しました。多くの人が募金に協力してくれました。

【デモクリーン作戦】6年1組 松岡さくら

私たちはデモクリーン作戦を行いました。なぜかという、ベイトアウンをもっと「ピカピカな街」にできたらと思ったからです。また、夏にやるクリーン作戦の前にこの活動をもっと知ってもらいたく、デモンストラーションとして行うことを考えたからで

す。その結果、私は一人の人がたくさん拾うのはむずかしいけれど、みんなが少しずつでもごみを拾えば、一人でたくさん拾うより、たくさん拾えるのだと感じました。これからもこのベイトアウンを「ピカピカな街」にするためにごみ拾いを続けていきたいです。そして、みなさんも、ごみを少しでもいいですから拾ってみてください。ベイトアウンが「ピカピカな街」に近づけるはずですよ。



ベイトアウンニュース創刊の頃のはなし

ベイトアウンニュース発行20周年を記念して、丁度いい機会なので今回から創刊当時の頃のことを書いてみます。そろそろ創刊した頃のことをまとめておかないと、そのうち誰も思い出せなくなって忘れ去られそうなので。【松村】

ベイトアウンニュースが創刊されたのは1997年6月。当時私は各番街の有志でつくる「ベイトアウンをよくする会」(後に自治会連合会となるがこのときはまだ自治会にするかどうか未定だった)に10番街管理組合の代表として参加していました。この会では広報誌を発行することが検討され、その任に当たったのが今もニュースと一緒に発行する金さんと板東さんです。

最初は広報誌といってもモノクロで会の議事録を記録した程度のものを印刷すればいいと3人とも鷹をくくっていたのですが、そこに当時5番街在住の下川さんが大変なアイデアを出してきました。「普通のどこにでもある広報誌など作っても誰も見ない。どうせ作るならベイトアウンらしく他にはないものをつくったらどうだ。フルカラーで写真も入れた雑誌のようなものなら新しい街のみんなも見よう」

下川さんは当時は毎日新聞記者でその後のコアの計画に主導的な役割を果たした人物です。発想がとても豊かで、出版にかかる費用は企業庁や街をつくるディベロッパー

に出してもらえばいいというものでした。

この言葉は私たち3人、特に金さんの心に火をつけました。雑誌のように洒落たデザインで内容もジャーナリスティックな広報誌のある街なんて他にない。なんといってもこの広報誌は住民自身がつくるものだ。

いっばしのジャーナリスト気分で「編集会議」をはじめ、記事を集めました。不安だったのは印刷にかかる費用です。知り合いの印刷会社に相談すると発行部数3,000部で約20万円と言われました。これを幕張ベイトアウンの街作りを支援してくれる企業に広告掲載という形で費用を出してくれるよう交渉します。

創刊号はベイトアウンディベロッパーのリーダー格、三井不動産です。交渉には当時三井不動産とは3番街の管理組合役員で面識のあった金さんが当たりました。しかし20万円もの金額をまだできていない住民組織のために出してくれるのか不安でした。ダメなら昔学生時代にやったようにガリ版とわら半紙でと半ばあきらめてい

たのですが…、なんと三井は快諾してくれました。これはあとで考えた話ですが、ディベロッパーや企業庁は意見のまとまらない住民を相手にするよりは、反対意見が強くてもまとまりのある住民組織と交渉した方がいいと考えていたようです。

お金の面も目処がついたので次は紙面です。丁度自治会連合会が発足できるタイミングになったので、創刊号はこの話題を中心にベイトアウンの駐車問題や11番街で企画されていたコンサートの話などで記事を作りました。

肝心の広報誌の名前ですが、これはまだ未定でした。実は「まくはりベイトアウンニュース」という名前は最初から決まっていたわけではなく、最初は自治会連合会広報誌という何の工夫もないタイトルで話を進めていました。しかし雑誌のようなフルカラーの紙面でこの名前では少し味気なさすぎます。そこで広報誌の名前を公募することにしました。街のみんなが作る広報誌ですから公募というのは自然な流れです。そして「まくはりベイトアウンニュース」という正式名称が決まりました。

こうしてなんとか最初の号を発行しましたが、なにぶんにも素人が集まって作った冊子です。分不相応なフルカラーの広報誌を発行しつづけるには更にいくつもの問題を経験しなければなりません。(この記事つづく)

「おしゃべりサロン」の刃物研ぎ教室

毎月第1、第3金曜日に公民館裏の地域連携センターで「おしゃべりサロン」が開かれています。このことはマンションの掲示板に貼られている社会福祉協議会のお知らせに載っているのですが、その中に「包丁研ぎ指導」という企画があります。どのようなものなのか、今回は高齢者予備軍の記者が自分の包丁を持って参加してみました。【小原】

「包丁研ぎ指導」の時間は午後2時からということで、少し前にセンターの戸を開けると、そこにはすでに何人もの先輩の方々がテーブルごとに賑やかにしゃべりをしていました。主催者の方に伺ったところ、この集まりは毎月第1、第3金曜日の2時から4時くらいまで開かれている高齢者向けのおしゃべりサロンで、毎回30人以上の方々が男女問わず集まり、お茶とお菓子を囲んで話に花を咲かせるのだそうです。私が一人でいると声をかけていただいたり、お茶やコーヒーを出して下さったり、誰でもすんなりとおしゃべりできるような雰囲気が出ています。

さて、包丁研ぎです。指導者は小畑さん。助手の百瀬さんと受付係の清水さんがサポートして3人態勢です。最初に包丁を預けると並べられた順に助手役の百瀬さんが研ぎ、最後に小畑さんが仕上げをします。預けた人はおしゃべりの輪の中へ。1時間で全部（今回は17本）の包丁研ぎが終わり、リフレッシュした包丁は持ち主の元へと帰っていきました。

私は自分で研ごうと自らの包丁を握りました。砥石の種類（数種類あります）や研ぐ時の包丁を寝かす角度などを説明されますが、体験してはじめてわかることが多く、特に重要なのは刃を指の腹で触って研ぎ具合を確認することです。ところが情けないことに私は尖ったものが苦手で、刃の端を指で触れるのにおびえてしまい、気が付いたらいつの間にか小畑さんが仕上げまで終えて下さいました。

この包丁研ぎの先生小畑さんは、ご自身の経験や器用さを活かして多方面で活躍されています。もちつき大会用の臼の修理や、寺子屋工作ランドでの指導、小学校で昔遊びを教えたりと様々です。「必要なものは何でも自分で作ります。当然日常で様々な工具を使うので、手入れのために刃物を研ぐことにも慣れていることからこのボランティアを始めました」。始めて5年以上になるそうです。小畑さんの元気の秘訣はこのように自分の特技をいろんな場面で人のために活かすことなのかもしれません。

さて、「おしゃべりサロン」での包丁研ぎは第1金曜日定例のイベントですが、他に企画があることもあります。第3金曜日にも手話披露、脳トレ運動、音楽療法、健康体操など脳や身体に良い企画が用意され、気軽に参加してもらえるよう工夫しています。会がお開きとなり、三々五々家路につく皆さんの幸せそうな笑顔が、このサロンが素敵なよりどころになっていることの証でした。

高齢の方が家に閉じこもらずに気楽に過ごせる場を提供するこのサロン、そしてそれを支えるボランティアのスタッフの存在はとても心強いものです。年輪を重ねた皆様方、いろんな機会を利用したり、ご自身の特技を活かして、楽しく生き生きとしたシニアライフを送っていただきたいとおもいます。

問合せ先：江副さん（Tel：043-211-0174）



セキレイがいなくなったような気がする

最近街の中でセキレイを見かけるのが少なくなったと思いませんか。セキレイはベイトウンが街開きして以来、ずっと変わることなくこの街のどこでも見られた野鳥でしたが、ここ数年で見られる機会が減ったように思います。

もともとが河原などのような場所を好む鳥なので、ベイトウンでも芝生のある公園などより、舗装された道路や石畳の歩道などでよく見る鳥でした。飛ぶのはあまり得意ではないようで、歩道で人から逃げるときも器用に左右の足を交互に出して「走って」逃げる可愛い鳥です。

街開きをした頃のベイトウンではまだ交通量の少ない道路上を悠々と歩きまわり、人を怖がらずにエサ探しに懸命になって歩くセキレイをあちこちで見かけることができました。

10年くらい前までは5月の子育ての頃にベランダの隙間に巣をつくり、驚いた人も多いたと思います。我が家でも風呂場の窓の敷居に巣をつくられ、閉めることができずに苦労したことがあります。

こんなふうにはベイトウンではとても身近な鳥だったので、少し見かけなくてもまたすぐ見つかるだろうと気にも留めなかったのですが、ここ数年見る機会が減っているように思うので気になっています。

一方、セキレイを見かけるのが少なくなったのと時期を同じようにして、ムクドリを見かけることがここ数年多くなりました。以前はベイトウンではそう多くは見られなかったのですが、ここ数年急に増えたように思います。早朝のバレンタイン通りではムクドリたちが盛んに鳴き交わし、マンションのベランダあたりからの鳴き声をよく聞きます。多分巣があるのでしょう。

セキレイが減ったのとムクドリが増えたことに関係があるのかどうかはわかりません。見た目から不人気のムクドリが見るからに華奢なセキレイを追い払ったようにも見えますが、一概にそうとも言えません。セキレイは道路や歩道によく居るので、交通量が増えて居られなくなっただけなのかもしれません。

ただセキレイもムクドリもマンションの小さな隙間に巣をつくり、枝に留まるよりも地面を歩いてエサを探すという行動は似ているようです。この点では彼らは同じエサを食べ同じところに生活して競争する関係にあるのかも知れません。違っているのはセキレイは単独で行動し、ムクドリは群れで行動することです。身体も大きく、群れで来られればセキレイは逃げるしかないでしょうね。

しかしそうすると何故ムクドリがベイト

ウンで増えたのかも気になります。もしかして彼らが好むケヤキの木が育ったのでベイトウンが生活しやすくなって集まって来たのかもかもしれません。

しかし、ある人は幕張海浜公園で生活していたムクドリが公園内で増えたカラスに追われてベイトウンに逃げてきたのだという話をしていました。確かに幕張海浜公園ではカラスが増えたというのはよく聞く話です。子育ての頃には公園内を通る人を襲うという話も聞きますからムクドリがベイトウンに逃げてきたというのもあながち根拠のない話ではなさそうです。

人が住み、空き地が減ってベイトウンに住む鳥も大きく変わりました。オオヨシキリやヒバリがいなくなってシジュウカラやメジロが来るようになり、やっと鳥の変転も落ち着いたのかなと思っていたのですが、まだまだ変わるようです。つまりは僕らの気がつかないところでベイトウンの生態系も大きく変わり続けているのかもかもしれません。【松村】



ベイバスターズが千葉県大会で優勝

東京新聞カップ・第39回関東学童軟式野球県大会（東京新聞・東京中日スポーツなど後援）準決勝と決勝が7月3日（日）に養老川臨海第一球場（市原）で行われ、打瀬ベイバスターズ（Aチーム）が優勝し、千葉県代表として本大会への出場を決めました。本大会は平成28年7月30日（土）、31日（日）に駒沢オリンピック公園総合運動場（硬式野球場）で行われ、関東1都7県・8チームで戦います。



コア・フェスタ開催のお知らせ

今年も「コア・フェスタ」を打瀬公民館で開催します。今年は例年11月下旬開催のスケジュールを変更し、10月初旬に行うことになりました。また今年からコア・フェスタは打瀬公民館主催の事業となり、運営は公民館内に置かれるサークル協議会が行うこととなります。今年のコア・フェスタは下記の2日間の日程で行われます。

日時：10月8日（土）、9日（日）午前9:00～午後5:00
場所：打瀬公民館全館

プログラムなど詳しくはベイタウンニュース10月号と各番街への掲示などで行います。お楽しみにお待ちください。

打瀬小前 交差点で人身事故 夏休みの事故に気をつけよう

7月17日午後5:30頃、打瀬小正面入口（1,3番街から横断歩道のあるT字路）交差点で自転車に乗った高校生が小型車にはねられるという事故がありました。

近くにいて事故直後に見かけた人の話では、事故にあったのは近くに住む高1男子生。自転車に乗った状態で車にはねられたようです。CPW方面から直進してきた乗用車が自転車をはねたとのことでしたが、自転車がどちらから来たのかなどは不明とのことでした。

路上には交差点の白線の上に大きな血のあとがあり、車のフロントガラスは割れ、肉片までついている状態（警察の目視による判断）で、事故が起きたとき高校生は自動車のボンネットに乗っていたそうです。その後自力で歩道まで歩いて来たということですが、怪我の程度は分かりません。

夏休みでベイタウン内での自転車の通行が多くなります。事故には気を付けましょう。

8月のコア・イベント

わくわくおはなし会 8月の常設おはなし会は、おやすみです。

次回9月のおはなし会は、

日時：9月17日 第3土曜日 午前10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

次回もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/> **

お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

8月27日（土）寺子屋工作ランド

「ぶんぶんごま」

日時：8月27日 第4土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

ぶんぶんごまにいろをつけて回してみよう。

どんないろになるだろう。

持ってくるもの：はさみ、えんぴつ、クレヨン、いろがみ、サインペンなど

参加費：50円（保険料）

第152回ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

日時：8月28日（日）午前9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

締切：8月21日（日）

申込先：TEL/FAX：211-0273（阿曾）

ベイタウンクリーン作戦

「そうじして 本当の魅力 見えてくる」の標語のもと、今年もラジオ体操後の「ベイタウンクリーン作戦」が行われています。今年も

○美浜打瀬小 7月20日（水）25日（月）

○打瀬小 7月28日（木）30日（土）

○海浜打瀬小 8月24日（水）29日（月）

の6回の予定です。7月20日の美浜打瀬小は雨のため中止になりましたが、この日以外は街をきれいにしようと熱心な子どもたちの熱意に支えられて、順調に予定を消化しています。

クリーン作戦は「子ども円卓会議」主催の事業で小中学校と社会福祉協議会が協力して毎年行われています。



7月28日、打瀬小でのクリーン作戦。一番熱心なのは低学年から中学年の小学生だ。

